

武蔵野市行財政集中改革プラン 取組状況（平成 18 年度末時点）

第 1 武蔵野市行財政集中改革プラン

1 事務事業の見直し

限られた財源や職員数で、新しい行政課題や多様な市民ニーズに的確に対応していくため、現在行っている事務や事業を改めて評価し、その結果に基づいて見直しを徹底する。

（1）不要不急、役割を果たした事務事業の見直し

取組事項	取組目標				
第三者委員会による事務事業の見直し	平成 18 年度及び 19 年度に、学識経験者等で構成される委員会を設置・検討し、20 年度より事務事業の見直しを行う。				
担当所管	年次計画				
企画調整課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
		検討	検討	実施	→
取組状況・今後の予定 （平成 18 年度末時点）	<p>【平成 18 年度 検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 18 年 10 月に学識経験者と公募市民による事務事業・補助金見直し委員会を設置した。 ・平成 18 年度予算に定めた全事務事業について、事務事業評価の手法を活用し庁内で点検した。 ・今後、点検結果をさらに分析し、委員会にかけ診断を行う。 ・平成 19 年 11 月を目途に委員会から市長への提言を行う。 				

（2）事務事業の減量化・効率化の推進

① 事務事業の効率化

取組事項	取組目標				
個別事務事業評価の拡充による事業の効率性・公平性の評価拡大	個別事務事業評価の対象事業数を拡大し、予算とリンクさせ、さらに事務事業の見直しへとつなげていく。				
担当所管	年次計画				
企画調整課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
		検討	実施	→	→
取組状況・今後の予定 （平成 18 年度末時点）	<p>【平成 18 年度 検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 18 年度予算に定めた全事務事業について、個別事務事業評価の手法を活用し庁内で点検した。 ・平成 18 年度に設置した事務事業・補助金見直し委員会での議論を踏まえながら、個別事務事業評価の拡充や予算とのリンクについて検討する。 				

取組事項	取組目標				
4年毎の適正な受益と負担の見直しに基づく事業の推進	行政サービスのコストを示し、受益に見合った適正負担の観点から、平成21年度に使用料、手数料等を見直す。				
担当所管	年次計画				
財政課ほか	H17	H18	H19	H20	H21
	実施			検討	実施
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 取組なし】 平成20年度に見直しを行う。				

② 事務事業の再編・整理、連携・統合

取組事項	取組目標				
市民セミナーと市民講座の統合	市民会館のあり方の検討を踏まえ、平成18年度までに市民セミナーと市民講座を統合する。				
担当所管	年次計画				
生涯学習スポーツ課	H17	H18	H19	H20	H21
	検討	実施			
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 実施】 平成18年度より市民講座として実施した。				

取組事項	取組目標				
公立保育園改革の推進	公立保育園の運営の効率化を図りながら、必要な子育て施策を充実させるため、保育園改革を推進する。				
担当所管	年次計画				
保育課	H17	H18	H19	H20	H21
	推進	→	見直し	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 推進】 平成16年度から18年度までの3か年、公立保育園改革計画を実施した。実施状況については公立保育園改革評価委員会で検証、審議し報告書を提出した。今後はこの報告を受け、取り組みを検討する。				

取組事項	取組目標				
小学校給食の民間委託化を含めたあり方の研究	学校給食事業の効率化を図るため、小学校給食事業の委託化を研究する。				
担当所管	年次計画				
給食課	H17	H18	H19	H20	H21
	検討	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 今後も継続して検討する。				

(3) 行政の担うべき役割の見直し

取組事項	取組目標				
市と市民・NPO・企業等との役割分担の見直し	行政サービスの供給主体のあり方を検討し、市と市民・NPO・企業等との役割分担を見直す。				
担当所管	年次計画				
企画調整課、市民協働推進課	H17	H18	H19	H20	H21
	検討	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	<p>【平成18年度 検討】</p> <p>・平成18年度に設置した事務事業・補助金見直し委員会の中で、市の役割やアウトソーシングについても検討を行う。職員定数適正化計画において、平成21年度からごみの一般収集を完全民間委託化する。その他、必ずしも市が直接実施する必要のない業務については、積極的に民間等へのアウトソーシングを検討する。</p> <p>・平成19年3月策定した「NPO活動促進基本計画」の中で、「武蔵野市NPO・市民活動促進三原則」、「武蔵野市市民協働ルール・ファイブ」を定めた。今後、これらに基づいてさらに検討を進める。</p>				

取組事項	取組目標				
公の施設の管理運営の民間への開放（指定管理者制度の導入）	公の施設の管理運営に指定管理者制度を導入し、民間への開放を進める。平成19年度中に自転車駐車場の一部に指定管理者制度を導入する。				
担当所管	年次計画				
企画調整課、公の施設を管理する所管課	H17	H18	H19	H20	H21
	検討・一部実施	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	<p>【平成18年度 検討】</p> <p>対象となる公の施設266施設中、45施設で指定管理者を導入済。平成18年度中に指定管理者を導入した公の施設はない。指定管理者制度を導入していない公の施設及び平成22年度開設予定の武蔵野プレイス（仮称）については、指定管理者制度導入の検討を行う。平成22年度の指定管理者の指定替えに向けて、サービスの要求水準や評価手法について研究を行う。</p>				

(4) 新規事業への的確な対応

① スクラップ・アンド・ビルド※の徹底

取組事項	取組目標				
市民ニーズ調査・満足度調査の実施	定期的に市民ニーズ調査及び満足度調査を実施する。				
担当所管	年次計画				
市民協働推進課	H17	H18	H19	H20	H21
	検討	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 これまで、長期計画や調整計画策定のための基礎資料として実施していた「市民意識調査」を改編し、現在行っている事務や事業を評価し、新しい行政課題や多様な市民ニーズ、満足度を把握する項目を追加して、平成19年度に実施する方向で準備中。				

※スクラップ・アンド・ビルド…新設（ビルド）にあたっては、同等の廃止（スクラップ）を条件とし、純増を認めないという管理（膨張抑制）の手法

② サンセット方式の採用

取組事項	取組目標				
新規事業に対するサンセット方式の採用	新規事業の開始にあたっては、事業の終期を定めておき、終期を迎えた時点で事業の評価を行い、継続するかどうかを検討するサンセット方式を採用する。事業の評価を行う組織体制を研究する。				
担当所管	年次計画				
企画調整課	H17	H18	H19	H20	H21
	検討・一部実施	実施	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 実施】 ・平成18年度にサンセット方式で事業を終了したもの… 国勢調査、地域福祉計画策定等 ・平成18年度にサンセット方式で事業を開始したもの… NPO事務増加対応、中学校給食担当設置				

2 スリムで柔軟な組織・人事体制の構築

社会状況の変化などに伴う新たな行政課題や、多種多様化する市民ニーズに対して、サービスコストを上げることなく迅速にかつ適切に対応していくため、スリムで柔軟な組織・人事体制を進めていく。

(1) 組織の見直しと業務の効率化

① 横割り組織の積極的な導入

取組事項	取組目標				
プロジェクトチーム等の横断的組織の設置	効率性、迅速性及び機動性を確保するため、関係部課による横断的組織としてプロジェクトチームの活用を更に進める。				
担当所管	年次計画				
企画調整課、各課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	実施	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	<p>【平成 18 年度 実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 17、18 年度に設置した主な庁内プロジェクトチーム等市庁舎レイアウト計画検討プロジェクトチーム、ホームページリニューアルワーキングチーム、福祉保健部所管三団体ワーキングチーム、今後の保健事業等のあり方を検討するプロジェクトチーム、子ども体験推進プロジェクトチーム、自転車安全利用条例（仮称）検討プロジェクトチーム、浸水対策プロジェクト 福祉保健部内で施設整備検討会を設置し、今後の福祉施設のあり方について検討を重ねて報告書をまとめる。 				

② 流動体制の整備

取組事項	取組目標				
1人2職制の制度化の研究	災害時や繁忙時、本来業務の他に他課の業務等に一時的に携わることのできる組織の仕組みを構築する。				
担当所管	年次計画				
人事課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	<p>【平成 18 年度 一部実施】</p> <p>一部試行的に実施しているが、今後は組織改正や定数適正化計画との連携を図りながら、より幅広い部門において実施していく。</p>				

③ 士気を高める組織のあり方

取組事項	取組目標				
業務改善提案制度の見直しと活用	業務改善提案制度規程を見直すとともに、庁内に積極的に提案することができる風土をつくり、制度の改善と改革が業務の一環である気風作りに取り組む。				
担当所管	年次計画				
企画調整課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	<p>【平成 18 年度 検討】</p> <p>中堅職員により、職員提案制度についての意見交換会を開催し、現在の制度の課題、問題点、改善策等について議論した。19 年度に業務改善提案制度規程を改正し、新たな職員提案制度を構築する予定。平成 19 年度に実施する第四期長期計画調整計画策定時に職員意見を募集する。</p>				

④ 業務の効率化

取組事項	取組目標				
ITを利用した内部情報の共有化と事務の効率化	平成17年度は総合事務支援システムとして公文書管理、電子決裁及び庶務事務の電子化及び情報の共有化を行った。また、工事請負契約については電子入札を導入した。今後はこの範囲を拡大する。				
担当所管	年次計画				
情報管理課	H17	H18	H19	H20	H21
	実施	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 実施】 グループウェア、公文書管理システム、電子決裁システム等の運用。電子入札の範囲を19年度から拡大する予定としている。				

取組事項	取組目標				
庁内事務のさらなる電子化の推進	平成18年度より、試行運用している電子決裁を市長までの運用とし、事務の効率化と迅速化を推進する。				
担当所管	年次計画				
情報管理課、総務課	H17	H18	H19	H20	H21
	試行	実施	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 実施】 平成19年3月7日現在の電子決裁率は、10.1%（前年度9.1%）となっている。今後も電子決裁率を調査し、各課の状況を踏まえ、電子決裁率を上げる方策に取り組む。				

取組事項	取組目標				
組織のスリム化及び機構改革の随時実施	平成14年に1室12部54課を1室8部47課とする機構改革を行った。17年7月には市民の安全、防災等を所管する防災安全部を設置した。今後も新たな行政課題や多様な市民ニーズに対応するため、組織の見直しを行う。				
担当所管	年次計画				
企画調整課	H17	H18	H19	H20	H21
	実施	検討	実施	検討	実施
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 実施】 <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度末現在、1室9部51課。 ・地方自治法の改正に伴い平成18年度末で助役を廃止し、新たに副市長を置く。 ・平成19年4月上旬、教育部の中に教育支援課を新設し、児童・生徒へのきめ細かい対応を一貫して行う。 ・地方自治法の改正に伴い平成19年7月に収入役を廃止し、新たに一般職の会計管理者を置く。 				

(2) スリムでやわらかい組織・人事体制

平成17年4月1日から22年4月1日までの職員数の数値目標は下表のとおりである。
今後5年間で100人を削減（削減率9%）する。

	平成17年 4月1日	平成18年 4月1日	平成19年 4月1日	平成20年 4月1日	平成21年 4月1日	平成22年 4月1日
職員数(目標)	1,114	1,100	1,087	1,058	1,036	1,014
削減数(人)	—	14	13	29	22	22
削減率(前年比)	—	1.3%	1.2%	2.7%	2.1%	2.2%
職員数(実人数)	1,114	1,086	1,071			
削減数(人)	—	28	15			
削減率(前年比)	—	2.5%	1.4%			

① 常勤職員数の削減

取組事項	取組目標				
退職予定人数を勘案した第4次職員定数適正化計画の策定	平成19年度から21年度までの3か年で88人の職員の削減を目標とする第4次職員定数適正化計画を策定する。				
担当所管	年次計画				
企画調整課	H17	H18	H19	H20	H21
	—	検討	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 実施】 平成19年度から21年度までの3か年で96名の職員削減を目標とする第4次職員定数適正化計画を、平成18年度に策定した。				

取組事項	取組目標				
職員定数適正化計画とリンクした職員採用計画の策定	第4次職員定数適正化計画に沿った職員採用計画を策定し、実施する。				
担当所管	年次計画				
人事課	H17	H18	H19	H20	H21
		検討	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 平成19年度については、職員定数適正化計画の本旨に合うよう、適正な職員採用を行っていく。				

② 柔軟な人材運用

取組事項	取組目標				
繁忙期や短期集中課題における公募によるプロジェクトチームの編成	イベントの応援等で一部実施している公募型のチーム編成を事務的分野にも拡げる。				
担当所管	年次計画				
企画調整課、人事課	H17	H18	H19	H20	H21
	一部実施	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	<p>【平成18年度 実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成18年度及び平成19年度に実施する第四期長期計画調整計画の策定過程において、庁内に設置したプロジェクトチームのメンバーを決める際、各部からの推薦のほかに、公募参加を呼びかけ、5名の職員がプロジェクトチームに参加した。 プロジェクトチームの活用は広く浸透しており、今後も重要課題や短期的課題に関して活用していく。 				

取組事項	取組目標				
常勤職員の勤務時間のシフト制導入の検討	戸籍住民課、保育園等で行っている勤務時間シフトを、サービス部門中心に拡大する。				
担当所管	年次計画				
人事課	H17	H18	H19	H20	H21
	実施	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	<p>【平成18年度 実施】</p> <p>勤務時間のシフト制については、市民サービスの向上や市民のニーズに応えるよう、より広い分野に拡大していく。</p>				

③ 多様な人材による組織編制

取組事項	取組目標				
任期付職員制度等を活用した多様で柔軟な任用	条例化等制度的整備は行っている。今後とも必要な任用を行っていく。				
担当所管	年次計画				
人事課	H17	H18	H19	H20	H21
	実施	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	<p>【平成18年度 実施】</p> <p>平成18年度に1名採用しているが、今後も必要に応じて任期付職員制度を活用していく。</p>				

取組事項	取組目標				
退職高齢者の再任用・再雇用など計画的な任用	今後の大量退職の時代を見据え、常勤職員との置き換えも含め計画的な任用を行っていく。				
担当所管	年次計画				
人事課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	実施	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 実施】 職員定数適正化計画を踏まえつつ、常勤職員の枠について再任用や再雇用職員を活用していく。				

④ 柔らかな任用

取組事項	取組目標				
新規採用職員の年齢制限の緩和	長期的育成を要する職員とのバランス等も勘案しながら、必要な職において年齢制限を緩和していく。				
担当所管	年次計画				
人事課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 経験者採用なども考慮に入れながら、年齢制限のあり方を研究していく。				

取組事項	取組目標				
部分休業、一時離職と復職の制度化	地方公務員法等との整合を念頭に、制度化について検討する。				
担当所管	年次計画				
人事課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	→	一部実施	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 少子高齢化対策などを念頭に、組織のあり方に配慮しながら、調査・研究をしていく。				

⑤ 常勤職員の服務体系の見直し

取組事項	取組目標				
本人選択による「一般職・総合職」制度の導入の検討	仕事へのかかわり方とそれに伴う処遇等について本人が十分納得したうえで力を発揮できるよう、職と勤務体系、給与等について整理し、制度化を図る。				
担当所管	年次計画				
人事課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	→	一部実施	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 制度の活用にあたって、個人の人生設計をふまえた制度のあり方を検討していく。				

取組事項	取組目標				
スペシャリスト(専門職)の養成、採用の検討	期限付任用も含め必要な職について実施していく。				
担当所管	年次計画				
人事課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	(実施)	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 専門職については、任期付職員や嘱託化などで対応しているが、今後も任用のあり方について、長期的な視点に立って検討していく。				

(3) 人事考課と人材育成

① 勤務評定制度の改善

取組事項	取組目標				
総合的人事考課制度の検討	給与等の処遇ともリンクする新たな人事考課制度を民間等も参考に構築していく。				
担当所管	年次計画				
人事課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 新たな人事考課制度については、現在の勤務成績評定が定着しているため、評価者訓練の実施などの運用の改善とともに、総合的な人事制度の一環として整備していく。				

取組事項	取組目標				
査定昇給制度の導入	能力と実績に応じた給与制度とするため、人事考課の結果を反映できる給与制度とする。				
担当所管	年次計画				
人事課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 人事評価の結果を反映した査定昇給制度を給料表の改正などにより導入し、併せて昇給制度の改善や勤勉手当のあり方の見直しなどを行う。				

② 人材育成の方針

取組事項	取組目標				
コンピテンシー [※] の導入の検討	新たな人事考課制度の構築の一環として、成果を上げる職員の行動特性等について分析し、評価項目に組み込んでいく。				
担当所管	年次計画				
人事課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 業務や個人の資質の向上に寄与するような評価項目を研究し、新たな人事考課制度に組み込んでいく。				

※コンピテンシー…高い業績をコンスタントに示している人の行動の仕方などに見られる行動特性のこと。ある職務に必要とされる知識や技能や価値観などというような細分化された能力でなく、観察可能なスキルなどを通して生み出される行動様式を1つの特性としてまとめたもの。

取組事項	取組目標				
職員研修体制・能力開発支援の充実	従来中心であった職層ごとの研修だけでなく、自己の能力開発や自己研鑽のための研修メニュー（選択的な研修方式、俗にいうカフェテリア方式）を用意し、意欲ある職員が自主的に取り組む研修の機会を提供する。				
担当所管	年次計画				
人事課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 意欲ある職員を育成するため、研修制度を再構築していく。				

取組事項	取組目標				
社内ドラフト [※] 、F A（フリーエージェント） [※] 制等、新たな人事異動方策の研究	職員のモラールアップと適材適所の人材配置等を目的として社内ドラフトやF A制度を導入する。				
担当所管	年次計画				
人事課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 制度の実施に向けて、能力開発やその活かし方について研究していく。				

※社内ドラフト…部課やプロジェクト単位で、プロ野球のドラフトのように欲しい人材を管理者側が指定して集める方式。

※社内F A（フリーエージェント）…ドラフトとは別に、職員の側から自分のやりたい業務や部課に手を挙げて参画する方式。一定の能力や経験等が認められなければ必ずしも希望どおりにはならない。

(4) 給与制度 成果の処遇への反映

取組事項	取組目標				
評価・業績に見合った処遇の実施	新たな人事考課に基づき、査定昇給を行うとともに、成果を上げた職員や意欲ある職員に対して、職務内容等に関し、FA制度などもからめながら目に見える処遇を行い、職員の意欲向上につなげていく。				
担当所管	年次計画				
人事課	H17	H18	H19	H20	H21
	検討	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 査定昇給制度導入、給料表の改善、各種手当の見直し等に取り組む。				

取組事項	取組目標				
職務・職責と成果に見合った給与体系への見直し	査定昇給制度の導入とともに、職務、職責に応じた給与体系の度合いを強めていく。				
担当所管	年次計画				
人事課	H17	H18	H19	H20	H21
	一部実施	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 一部実施】 平成18年度の給与改定においては、職務の級間の額を広げるような給料表の見直しを行っているが、今後も行(二)の表や枠外昇給を含め、見直しを行っている。				

(5) 変化に柔軟に対応する自治体経営の確立

① トップマネジメントを支援する機能の強化

取組事項	取組目標				
庁議（経営会議、主管者会議、企画調整会議）の活性化と活用	市長が政策判断しやすい環境を整備するため、一層の議論の活性化と情報共有に努めていく。				
担当所管	年次計画				
企画調整課	H17	H18	H19	H20	H21
	実施	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 実施】 経営会議（毎週開催）、主管者会議（月2回程度）、企画調整会議（月1回）を開催した。地方自治法の改正に伴い、助役及び収入役が廃止され、副市長及び会計管理者が置かれる。マネジメント機能を充実させるため、継続的にそれぞれの会議のあり方を見直していく。				

② 組織内分権の充実

取組事項	取組目標				
部門における予算編成・執行権限の強化	平成18年度予算編成では一部に予算の枠配分制度を試行した。この試行の結果を踏まえ、19年度以降の予算編成においてはすべて枠配分とし、限られた予算を有効かつ必要な事業には重点的に配分することを検討する。				
担当所管	年次計画				
財政課	H17	H18	H19	H20	H21
	試行	実施	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 実施】 平成19年度予算編成では対象範囲をさらに拡大して枠配分予算編成を試行した。この試行結果を検証し、平成20年度予算編成では全ての費目で枠配分予算編成を実施する。				

取組事項	取組目標				
部門における人事権限の強化	部内の繁忙等に合わせ、定数や事務分掌等にとらわれることなく、柔軟に人材が流動できるような仕組みとしていく。				
担当所管	年次計画				
人事課	H17	H18	H19	H20	H21
	検討	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 組織のあり方や適正化計画にあわせて、各所管において人材の流動的な活用ができるような制度の検討を進める。				

③ 危機管理（リスクマネジメント）への対応

取組事項	取組目標				
危機管理体制の構築	市民の安全を守る危機管理の拠点として、防災・安全センター（仮称）を整備する。また、災害時にも対応できる強固な情報システムを整備するとともに、情報機器をセンターに設置し、市民の個人情報保護の強化を図る。				
担当所管	年次計画				
情報管理課、防災課	H17	H18	H19	H20	H21
	一部実施	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 一部実施】 防災・安全センターの建設は平成19年5月に竣工予定である。また、センターの竣工にあわせて防災情報システムの整備を行うが、システム構築業者選定にあたっては、「武蔵野市防災情報システム導入検討委員会」を設け、プロポーザル方式により決定し、災害時の情報収集、分析、意思決定を助けるシステム開発を実施した。今後は、防災安全部執務室がセンター内に移転する平成19年7月を目途に、システム本格稼働を実施し、危機管理体制の強化を図る。				

④ 国・東京都への対応

取組事項	取組目標				
国や都の動向に対する的確な対応	真の地方分権の確立を目指し、地方六団体等を通して国に強く働きかけていく。また、東京都の施策、補助金等の見直しに際しては、市民生活等に配慮するよう東京都市長会を通じて申し入れていく。				
担当所管	年次計画				
企画調整課、財政課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	実施	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 実施】 今後とも、国や都の動向に留意して、国や都に働きかけをしていく。				

3 健全な財政運営と効率的な行政経営

市の歳入は、今後は大きな伸びが期待できないため、中長期的な財政の見通しに基づいた予算を編成しなければならない。そのため、バランスシートや事務事業評価を予算編成に生かし、持続可能な財政運営を行っていく。

(1) 中期的な財政計画に基づく財政運営と予算プロセスの改革

① 財政規律をもった財政運営

取組事項	取組目標				
中長期資産管理計画（インフラ資産及び公共施設の維持更新計画など）の作成	昭和 30 年代後半から建てられた小中学校の校舎をはじめ公共施設について、10 年後から建て替え検討の必要性が生じるため、計画的な維持更新計画を平成 19 年度を目途に策定する。				
担当所管	年次計画				
財政課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	策定		
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 小中学校施設の維持更新については、平成 18 年度に庁内検討会議を立ち上げた。その他の公共施設については、平成 19 年度に検討を行い、維持更新計画を策定する。				

取組事項	取組目標				
市債（特別会計、土地開発公社借入金を含む）管理計画の作成	健全な財政運営を維持するため、平成 18 年度策定予定の調整計画における財政計画にあわせて、市債の管理計画を作成する。				
担当所管	年次計画				
財政課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	作成			
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 平成 19 年度に、調整計画における財政計画の作成にあわせ、市債管理計画を作成する。				

② 評価に基づいた予算

取組事項	取組目標				
長期計画、予算及び事務事業評価における事業単位の調整	行政評価を長期計画や予算・決算と総合的にリンクさせるため事業単位の調整を行い、政策形成(Plan)-実施(Do)-検証・評価(Check)-見直し(Action)のマネジメント・サイクルの確立を図る。				
担当所管	年次計画				
企画調整課、財政課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	→	実施	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 ・平成18年度に事務事業・補助金見直し委員会を設置し、個別事務事業評価の手法を活用して、事務事業の見直し作業を行うと同時に、事務事業評価の手法の検証を行っている。平成20年度実施を目指し、今後も継続的に検討を行う。 ・平成19年度に事業単位の調整を行い、財務会計システムの入替に反映させる。				

取組事項	取組目標				
財務会計システムの入替に合わせた事業別予算化の検討	財務会計システムの平成19年度の入替に際して、電子決裁の導入とともに、現行の事業を長期計画及び事務事業評価にリンクさせるために調整した事業単位に変更する。				
担当所管	年次計画				
財政課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	→	実施	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 財務会計システム単独の入替には大きなメリットはないとの判断で、総合的な内部情報システムの再構築の中で入替を検討することになる。平成20年度以降の入替を検討する。				

取組事項	取組目標				
主要な施策の成果目標の明示、目標達成状況の公表及び事後評価の実施	市民に分かりやすい予算とするために、重点化する予算すべてに成果目標または活動指標を明示し、目標の達成状況を公表するとともに事後評価を行う。				
担当所管	年次計画				
企画調整課、財政課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	→	実施	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 平成19年度に検討し、平成20年度から実施する。				

取組事項	取組目標				
補助金の見直し基準の策定並びに評価及び見直しの実施	各種団体への補助金は継続性を排し、それぞれの補助金ごとに評価を行い、あり方を見直す。平成18年度及び19年度には外部の第三者による委員会により見直し基準の策定を行う。				
担当所管	年次計画				
企画調整課、財政課	H17	H18	H19	H20	H21
		検討	検討	実施	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 平成18年度事務事業・補助金見直し委員会を設置した。平成19年度に、補助交付基準を策定し見直しを行う。平成20年度予算編成に反映させる。				

取組事項	取組目標				
第三者による評価の仕組みづくり	事務事業評価に外部の第三者による評価の仕組みを追加する。				
担当所管	年次計画				
企画調整課	H17	H18	H19	H20	H21
	検討	→	→	実施	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 平成18年度に事務事業・補助金見直し委員会を設置し、個別事務事業評価の手法を活用して、事務事業の見直し作業を行うと同時に、事務事業評価の手法の検証を行っている。平成20年度の実施を目指し、事務事業評価の外部監査や政策評価、施策評価について研究を進める。				

(2) 財務状況の報告、業績目標と達成状況の報告

① 公会計制度改革

取組事項	取組目標				
複式簿記・発生主義会計の導入の検討	平成18年度に導入予定の東京都や杉並区など他団体の先行事例を検証し、複式簿記・発生主義会計導入の効果、時期等を検討する。				
担当所管	年次計画				
財政課	H17	H18	H19	H20	H21
	検討	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 平成18年度に発足した、東京都市長会の「公会計制度に関する研究会」に参加し検討を始める。今後も研究会の一員として検討していく。				

② 長期計画の優先施策と評価－業績報告

取組事項	取組目標				
長期計画の優先施策に関する年次業績報告書の作成	長期計画の優先施策の主要な事業について、成果指標、活動指標、コストを事前に設定し、その達成状況を公表する。				
担当所管	年次計画				
企画調整課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 調整計画の策定作業を進めていくうえで、年次業績報告書の作成について、研究していく。				

(3) サービスの成果、努力、コストと財源、受益者負担の政策方針の開示

① 使用料及び手数料の見直し

取組事項	取組目標				
受益者負担率の設定	使用料・手数料等の見直しに際し、サービスの目的や機能について分類し、その分類ごとに標準的な受益者負担率を設定し、見直し事務の適正化を図る。				
担当所管	年次計画				
財政課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
				検討	実施
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 取組なし】 4 年に一度の使用料・手数料の見直しに合わせ、平成 20 年度に検討を行い、平成 21 年度に実施する。				

② 減免制度

取組事項	取組目標				
減免制度の適正なあり方の検討	使用料・手数料の見直しにあわせて、その減免制度についても、あり方を含め基準を明確化する。				
担当所管	年次計画				
財政課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
				検討	実施
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 取組なし】 4 年に一度の使用料・手数料の見直しに合わせ、平成 20 年度に検討を行い、平成 21 年度に実施する。				

③ 広告収入など独自財源の確保

取組事項	取組目標				
広告収入の確保	歳入確保策として、新たな財源である広告料収入について検討する。ホームページのリニューアルにあわせて平成18年度にバナー広告※を設置予定。				
担当所管	年次計画				
広報課、財政課	H17	H18	H19	H20	H21
	検討	実施	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 実施】 平成18年10月よりホームページ広告掲載要綱施行。11月より5枠で募集開始。19年1月よりバナー広告掲載。すでに4月以降1年分の広告も審査済み。				

※バナー広告…インターネット広告の一種。ウェブ・サイトに広告の画像を貼り、広告主のウェブ・サイトにリンクする手法。インターネット広告としては最も広く用いられる手法。

4 市民協働の積極的推進と行政サービスの向上

市民が市政へ参加する機会を増やすとともに、さまざまな市民活動と市の施策の連携を図るため、あらゆる分野で市民やNPOなどとの協働を進めると同時に、民間の力の一層の活用により効率的で質の高い行政サービスを提供していく。

(1) 市政情報の徹底した共有

① 情報提供の推進

取組事項	取組目標				
特定の人を対象に必要な情報だけを送る仕組みなどの構築	目的別メールマガジンの需要と内容、提供の仕組みなどを検討後、必要に応じて実施していく。				
担当所管	年次計画				
広報課	H17	H18	H19	H20	H21
	—	検討	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 ・ホームページでは平成19年3月に「市民参加」コンテンツを追加するなど、目的別の検索機能を向上。19年度中に、RSSを利用した配信などを検討し、20年度から実施に変更。 ・子育て情報の提供について、ニーズ調査などにより研究したが、費用対効果の面から引き続き検討。				

取組事項	取組目標				
携帯電話による情報提供の検討	平成18年度のホームページの改革として、携帯電話機能を追加する。				
担当所管	年次計画				
広報課	H17	H18	H19	H20	H21
	—	検討	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 携帯電話サービスにふさわしいコンテンツを検討。平成19年4月からサービス開始予定。				

② 市民ニーズに迅速に応える仕組みの整備

取組事項	取組目標				
地域情報システム、電子会議室の利用率向上の検討	利用率の向上を図るため、PR方法、機能や表示方法等システムの見直しを検討していく。				
担当所管	年次計画				
市民協働推進課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 平成 19 年度に新システムに変更予定。				

③ 市や地域に関する情報の充実

取組事項	取組目標				
市政資料検索システムの研究・開発	市政資料コーナーで保有する資料の目録をデータベース化し、利用者が必要とする資料を簡単に検索できるようにしていく。				
担当所管	年次計画				
市民協働推進課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 実施】 市政資料コーナーで保有する資料の配架場所等の管理をシステム的に行えるようにした。				

取組事項	取組目標				
市政情報提供施設のネットワーク化	各施設でどのような市政情報を提供しているのか、どの施設においてもすぐわかるように情報の共有化を図る。				
担当所管	年次計画				
市民協働推進課、図書館、各課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 ・ 市政資料コーナーで保有する資料の目録を図書館へ提供し、図書館でも市政資料コーナーで保有する資料の調査・確認をできるようにする。 ・ 図書館所蔵資料については、図書館ホームページより検索可能である。				

(2) 市民とのパートナーシップの推進

① 市民活動の促進と市民参加の場の提供

取組事項	取組目標				
自治基本条例制定の検討	市民と行政との基本的な関係を規定する自治基本条例を制定する。				
担当所管	年次計画				
企画調整課	H17	H18	H19	H20	H21
		検討	→	→	実施
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 平成18年11月に庁内の職員で構成する自治基本条例等に関する調査研究ワーキングチームを設置し、他の自治体の導入状況等を調査研究中。今後はワーキングチームの調査研究結果を踏まえ、武蔵野市における自治基本条例のあり方等について研究していく。				

取組事項	取組目標				
市民活動やNPO活動への人的・財政的支援の拡充	平成18年度策定予定のNPO活動促進基本計画の中で検討し、その結果を踏まえて実施していく。				
担当所管	年次計画				
市民協働推進課	H17	H18	H19	H20	H21
		検討	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 平成19年3月に「NPO活動促進基本計画」を策定した。今後、この計画に基づいて、NPO法人事業支援補助金の充実などを実施していく。				

取組事項	取組目標				
NPO活動促進基本計画の策定	NPOやボランティアなどの団体と行政とがパートナーシップを発揮し、課題解決やサービス提供に取り組む体制づくりと、NPO活動推進や協働のあり方に関する市の目標や方針を示す。				
担当所管	年次計画				
市民協働推進課	H17	H18	H19	H20	H21
	検討	実施			
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 実施】 平成19年3月20日に「NPO活動促進基本計画策定委員会報告」を市長に提出。この計画の中で「武蔵野市NPO・市民活動促進三原則」、「武蔵野市市民協働ルール・ファイブ」を定め、市の目標や方針を示した。				

取組事項	取組目標				
市民活動支援の場の設置	NPOや市民団体などが交流し連携を図る拠点とし、市民活動に関する情報集約・提供機能、印刷等の作業や集会機能を持つ施設の設置を検討する。				
担当所管	年次計画				
市民協働推進課	H17	H18	H19	H20	H21
	検討	→	→	実施	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 武蔵野プレイス（仮称）の中に市民活動サポート機能の設置を図る。また、平成19年3月に策定した「NPO活動促進基本計画」に基づいて、市役所西棟に「市民協働サロン」を19年度中に設置する。				

取組事項	取組目標				
パブリック・コメント※の制度化	自治基本条例の検討の中で、パブリック・コメントの制度化について検討していく。				
担当所管	年次計画				
企画調整課	H17	H18	H19	H20	H21
		検討	→	→	実施
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 自治基本条例制定の検討とあわせ、今後も継続的に検討を行う。				

※パブリック・コメント…行政による規制の設定または改廃、事業の実施にあたり、行政機関が原案を公表し、市民から意見や情報の提出を求め、その意見等をもとに検討後、最終意思決定を行う制度のこと。

② 審議会等の活性化

取組事項	取組目標				
公募委員の拡充	市民の市政への参画をより一層進めていく。				
担当所管	年次計画				
各課	H17	H18	H19	H20	H21
	実施	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 実施】 公募委員が参加する（した）主な審議会等 第四期長期計画調整計画市民会議、事務事業・補助金見直し委員会、情報公開委員会、NPO活動促進基本計画策定委員会、観光推進計画策定委員会、環境市民会議、廃棄物に関する市民会議、福祉総合計画策定委員会、福祉総合計画アドバイザー会議、地域包括支援センター運営協議会、まちづくり活動推進委員会、まちづくり条例（仮称）検討委員会、中学校給食検討委員会、図書館運営委員会。 公募委員の重複を可能な限り避け、より多くの方が市政に参加できるよう、公募に関する一定のルールを検討する。				

取組事項	取組目標				
会議録等会議情報のより一層の公開	市政の透明性の確保を図るため、会議録等の会議情報の公開をより一層進める。				
担当所管	年次計画				
各課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	実施	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	<p>【平成 18 年度 実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各課において、会議録等の情報を市ホームページや市政資料コーナーにおいて公開した。 ・農業振興基本計画策定委員会を設置し、会議録をHPで公開。観光推進計画策定委員会を設置し、会議録をHPで公開予定（準備作業中）。 ・地域包括支援センター運営協議会の議事録、配布資料をホームページで公開。 ・教育委員会定例会議事録のホームページ公開（予定） ・図書館運営委員会第 1 期委員会会議要録を図書館ホームページ上で公開。 ・福祉総合計画アドバイザー会議を傍聴可で運営し、会議要録、配布資料をホームページで公開。 ・平成 18 年 9 月よりインターネットでの生・録画中継を本会議すべてと予・決算特別委員会に拡大した。今後は、常任委員会への拡大の可能性を検討する。 				

取組事項	取組目標				
委員会等の傍聴許可の原則化	個人情報保護の観点から公開になじまない委員会等を除くほか、全ての委員会等に対して公開を原則化していく。				
担当所管	年次計画				
各課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	実施	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	<p>【平成 18 年度 実施】</p> <p>傍聴可能としている（いた）主な委員会等</p> <p>第四期長期計画調整計画市民会議、武蔵野プレイス（仮称）専門家会議、福祉三団体再編検討有識者会議、事務事業・補助金見直し委員会、情報公開委員会、NPO活動促進基本計画策定委員会、観光推進計画策定委員会、環境市民会議、廃棄物に関する市民会議、福祉総合計画アドバイザー会議、地域包括支援センター運営協議会、まちづくり条例（仮称）検討委員会、都市計画審議会、吉祥寺ランドデザイン委員会、吉祥寺共同集配システム検討委員会、交通バリアフリー事業計画実施推進委員会、緑の基本計画検討委員会、中学校給食検討委員会、図書館運営委員会</p>				

③ 市民力を生かした市民協働の推進

取組事項	取組目標				
市内の企業、コミュニティ活動団体、ボランティアやNPOなどとの連携の強化	平成18年度策定予定のNPO活動促進基本計画の中で検討した結果を踏まえ、コミュニティ協議会などと協議しながら実施していく。				
担当所管	年次計画				
市民協働推進課	H17	H18	H19	H20	H21
	—	検討	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 平成19年3月に「NPO活動促進基本計画」を策定した。今後、この計画に基づいて、地域密着型の中間支援組織である「武蔵野市NPO・市民活動ネットワーク」やコミュニティ協議会などと協議しながら実施していく。				

取組事項	取組目標				
市民の起業に対する支援	むさしのヒューマン・ネットワークセンターにおいて、就労に必要な能力を高めるセミナーの開催又は創業、起業等の情報を提供する。				
担当所管	年次計画				
市民協働推進課	H17	H18	H19	H20	H21
	実施	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 実施】 今後も引き続き実施していく。				

(3) 地域の力の活用と市民サービスの向上

① 質の高い行政サービスの提供

取組事項	取組目標				
市民による公園や道路、公共施設などの管理（アドプト制度*等）の推進	公園等の公共施設の管理を地元の市民や企業、団体に担っていただく方策を検討していく。				
担当所管	年次計画				
道路課	H17	H18	H19	H20	H21
	検討	→	→	→	→
緑化環境センター	H17	H18	H19	H20	H21
	実施	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 実施】 ・現在電線類の地中化を施工中の末広通りなどで、制度導入について平成19年度実施に向けて商店会と協議中。 ・緑化推進や公園等の維持に関する活動について市と協定を締結している緑ボランティア団体に対し、20万円を上限に事業助成を実施。18年度実績…16団体				

* アドプト制度…アドプトとは養子の意味で、住民や企業・団体等が、身近な道路や公園などの公共施設等の里親になって、維持管理や美化活動などを担う制度。アダプトとも言う。

取組事項	取組目標				
コンビニエンスストアや郵便局などと連携した市の窓口機能の拡充	コンビニエンスストアや郵便局のＡＴＭなどを利用し、税金の支払ができるようにするなど、市内に点在するサービス機関を利用し、市の窓口機能を他市の動向等を見守りながら拡大していく。				
担当所管	年次計画				
企画調整課、納税課、保険年金課、出納課	Ｈ１７	Ｈ１８	Ｈ１９	Ｈ２０	Ｈ２１
	検討	→	→	実施	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 先進市の調査及び情報収集を引き続き行うとともに、実施年度を平成21年度に変更し、関係各課の調整、協議を行う。				

取組事項	取組目標				
ワンストップサービス※、接遇研修の徹底など窓口サービスの改善	市民の利便の向上を図るため、複数の手続を1つの窓口で済むようにするワンストップサービスの検討や、窓口での対応の向上に努めていく。				
担当所管	年次計画				
企画調整課、人事課、戸籍住民課、保険年金課	Ｈ１７	Ｈ１８	Ｈ１９	Ｈ２０	Ｈ２１
	検討	一部実施(接遇)・検討	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 一部実施】 <ul style="list-style-type: none"> 平成18年度は、接遇の要(かなめ)となる主任級職員に対して、悉皆で接遇研修を開始した。今後も定期的に研修を実施し、市民サービスの更なる向上を図る。 戸籍や住民票など、各種システム化が進むなかで、当面の方策として自動交付機によるシステム統合を図り、ワンストップ化への第一歩とする。 				

※ワンストップサービス…一度の手続きで、必要とする関連作業をすべて完了させられるように設計されたサービスのこと。インターネット上の一つの窓口から一回の操作で各種の行政サービスを受けられるようにする仕組みを指す場合もある。具体的には、行政手続の案内や申請等の様式を一か所で検索、入手できるようにすることや、複数の関連する手続きを一回で完了できるようにすることという。

取組事項	取組目標				
フロア・マネージャー、市政コンシェルジュ※設置の検討	来庁者に必要な窓口を案内するフロア・マネージャーの設置や市政などに関する様々な情報をわかりやすく、丁寧に市民に説明する市政コンシェルジュ(市政の案内人)の設置を検討する。				
担当所管	年次計画				
企画調整課、戸籍住民課	Ｈ１７	Ｈ１８	Ｈ１９	Ｈ２０	Ｈ２１
		試行・検討	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 一部実施】 平成18年4月、戸籍住民課に2名のフロアマネージャーを配置し、窓口誘導、書類作成支援等を行っている。平成19年度は3名体制とし昼休みも含めて常時配置できるようにし、サービスの向上をめざす。				

※市政コンシェルジュ…ホテルで観光や交通の案内係を務めるコンシェルジュの考え方を市に取り入れ、市民に市政等についての情報を総合的に説明する案内人のこと。

② 民間活力の活用

取組事項	取組目標				
定型的・専門的業務、単純労務などへの民間委託の拡大	行政が直接担うべきサービスと民間委託が可能なサービスを精査し、民間委託の拡大を図っていく。				
担当所管	年次計画				
企画調整課、各課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	実施	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 実施】 ごみの一般収集、庁内印刷業務や蜂の巣駆除等、委託化可能な事業については民間委託を進めている。今後、事務事業・補助金見直し委員会での議論や答申を踏まえ、民間委託が可能な事務事業を洗い出し、民間委託をさらに進めていく。				

取組事項	取組目標				
市場化テスト導入の検討	これまで「官」が独占してきた「公共サービス」について、「官」と「民」が対等な立場で競争入札に参加し、価格及び質の両面で最も優れた者が、そのサービスの提供を担っていくこととする市場化テスト制度の導入を、国や他の自治体の動きを見極めながら検討し、コストの削減とより良いサービスの提供に努める。				
担当所管	年次計画				
企画調整課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
		検討	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 情報収集を継続して行っている。今後も、国や他の自治体の動きを見極めながら、市場化テスト導入の検討を継続して行う。				

取組事項	取組目標				
ごみ収集業務の完全委託化	ごみ収集職員の退職者については不補充を基本とし、災害時等のごみ収集体制等も検討しながら、ごみ一般収集業務の完全委託化を図る。				
担当所管	年次計画				
ごみ総合対策課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	→	→	実施
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 年次計画に従い、ごみ一般収集業務の完全委託化をすすめる。				

取組事項	取組目標				
民営化も視野に入れた公立保育園改革の推進	公立保育園改革計画に基づき、保育の質の向上を図り運営の合理化を行っているが、今後は民営化も視野に入れてより一層の改革を進めていく。				
担当所管	年次計画				
保育課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	推進	→	見直し	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 推進】 平成 16 年度から 18 年度までの 3 か年、公立保育園改革計画を実施した。実施状況については公立保育園改革評価委員会で検証、審議し報告書を提出した。今後はこの報告を受け、改革の推進に対する取り組みを検討する。				

取組事項	取組目標				
小学校給食事業民間委託化の検討	学校給食事業の効率化を図るため、小学校給食事業の委託化を研究する。				
担当所管	年次計画				
給食課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 今後も継続して検討する。				

取組事項	取組目標				
図書館などの生涯学習施設への指定管理者制度の導入	武蔵境駅南口に建設予定の図書館機能を有する新公共施設について、計画の進捗に合わせて指定管理者制度の導入を検討し、実施していく。				
担当所管	年次計画				
企画調整課、図書館	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
		検討	→	実施	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 対象となる公の施設 266 施設中、45 施設で指定管理者を導入済。平成 18 年度中に指定管理者を導入した公の施設はない。指定管理者制度を導入していない公の施設については、指定管理者制度導入の検討を行う。 武蔵野プレイス（仮称）については、年次計画に基づき検討を行っており、今後も引き続き検討を行う。なお、実施時期については当該施設の建設が当初計画より、1 年以上遅れているため、21 年度以降、計画の進捗に合わせて実施する予定である。平成 22 年度の指定管理者の指定替えに向けて、サービスの要求水準や評価手法について研究を行う。				

取組事項	取組目標				
自転車駐車場への指定管理者制度の導入	市営有料自転車駐車場の一部に指定管理者制度を導入し、コストの削減及びサービスの向上を図る。				
担当所管	年次計画				
企画調整課、交通対策課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	検討	→	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 平成 19 年度実施を見送り、継続して検討とする。				

③ 公共施設や未利用地の有効活用と広域行政の推進

取組事項	取組目標				
公の施設以外の公共施設や普通財産、未利用地の活用の検討	学校施設等の市民開放を継続するとともに、有効活用されていない普通財産、未利用地などの一時利用を進める等、公共施設のさらなる有効活用を図っていく。				
担当所管	年次計画				
企画調整課、管財課、用地課	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
		庁内調整	実施	→	→
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 ・平成 18 年度中に、他自治体における普通財産の有効活用に関する調査を実施した。現在、取りまとめの作業を行っている。今後は、企画調整課、管財課及び用地課と間で、上記調査の結果を参考にしながら、有効活用のあり方について検討を行う。 ・(土地開発公社保有地) 駐輪場施設用地として市へ賃貸している。また、公園用地として購入した土地を未利用地として保有しているが、早期に市へ売却し、公園整備を進め活用する。				

第 3 地方公営企業関係（水道事業）

1 経営改革の推進（事務・事業の再編、廃止・統合、民間委託等の推進）

（1）平成 17～21 年度までの 5 年間の経営改革の取組目標

取組事項	取組目標				
アウトソーシング拡大の検討	業務を点検し、平成 21 年度までにアウトソーシング拡大の検討を行い、実施する。				
担当所管	年次計画				
水道部	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
		検討	→	→	実施
取組状況・今後の予定 (平成 18 年度末時点)	【平成 18 年度 検討】 既に第二浄水場のポンプ運転管理を外部委託しているが、平成 20 年度より第一浄水場の夜間のポンプ運転管理を外部委託する。				

取組事項	取組目標				
組織体制の見直しの検討	厳しい社会情勢の中で、絶えず組織体制を見直し、フレキシブルに対応する。				
担当所管	年次計画				
水道部	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
		検討	→	→	実施
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 検討】 第一浄水場の夜間ポンプ運転の委託に伴い、前倒しで平成19年度から平成21年度までに各1人の削減を行う。 総務課、業務課の統合を行い、総務課2人の減員については平成19年度の継続協議事項。				

2 定員管理・給与の適正化

(1) 定員管理の適正化

平成17年4月1日～22年4月1日までの定員管理の適正化目標

計画	市長部局との第4次職員定数適正化計画に基づいて適正化を図る。
取組状況・今後の予定	【平成18年度 計画と同じ】

(2) 給与の適正化

今後の給与の適正化目標

計画	市職員の枠組みの中での適正化に取り組む。
取組状況・今後の予定	【平成18年度 計画と同じ】

(3) 定員管理、給与の適正化の公表

今後の給与の適正化目標

計画	市職員の枠組みの中で公表する。
取組状況・今後の予定	【平成18年度 計画と同じ】

3 経費節減等の財政効果

(1) 平成17～21年度までの5年間の経費節減等の目標

収入関係

取組事項	取組目標				
未利用財産の売り払い	平成17年度に未利用井戸用地を売却する。				
担当所管	年次計画				
水道部	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
	実施				
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	【平成18年度 実施】 未利用地はないが、業務の変更により未使用となっている工事用車両を売却した				

支出関係

取組事項	取組目標				
企業債残高の減少	剰余金及び各基金の取り崩しにより、企業債の発行を控え、企業債残高を減少させる。				
担当所管	年次計画				
水道部	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
		実施	→	→	→
取組状況・今後の予定 (平成18年度末時点)	<p>【平成18年度 実施】 平成19年度も企業債の発行を行わない。平成19～20年度に高利率の企業債の繰上げ償還が認められる見込みであり、条件に適合すれば返還を進めたい。</p>				